

令和5年9月26日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和5年9月26日(火曜日)

午後1時15分から午後3時00分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委員 鷺尾 達雄 委員 大久保 真紀
委員 荒木 正 委員 廣川 佳予子

4 職務のため出席した者

教育部長	竹内 正浩	子ども未来部長	星野 麻美
教育部副参事(科学博物館長事務取扱)	小熊 博史	教育総務課長	桜井 秀行
教育施設課長	吉田 朗	学務課長	青木 佐土子
学校教育課長	佐山 靖和	学校教育課部活動地域移行担当課長	遠藤 雄一
学校教育課主幹兼管理指導主事	稲毛 真哉	学校教育課主幹兼管理指導主事	玉木 暢
学校教育課主幹兼管理指導主事	小畑 活	中央図書館長	梅沢 一茂
子ども・子育て課長	深澤 寿幸	子ども家庭センター副所長	高野 理恵
保育課長	恩田 立也	学校教育課企画推進係長兼指導主事	大畑 勝義
学校教育課教育センター教育研究室指導主事	渡辺 大輔		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 江田 綾子 教育総務課庶務係長 今井 香

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 45 号	附属機関委員の委嘱について

7 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 9 月定例会を開会します。

(金澤教育長) 会議に入る前に、荒木委員の任期が 9 月 30 日で満了することに伴い、昨日の市議会 9 月定例会最終本会議にて、10 月 1 日からの再任が議決されましたので、御報告させていただきます。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、大久保委員及び荒木委員を指名します。

◇日程第 2 議案第 45 号 附属機関委員の委嘱について

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 45 号 附属機関委員の委嘱について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(桜井教育総務課長) 議案第 45 号 附属機関委員の委嘱について説明します。長岡市公立学校通学区審議会委員の任期が令和 5 年 9 月 30 日で満了するため、新しい委員を委嘱するものです。委嘱期間は、令和 5 年 10 月 1 日から令和 7 年 9 月 30 日までの 2 年間です。なお、委員については太田中学校区を除く全ての中学校区から推薦された方が 26 名、また、小学校長会、中学校長会からそれぞれ 1 名ずつ推薦いただき、合計 28 名です。そのうち再任は 15 名、新任が 13 名です。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありますか。

(鷲尾委員) 現行の通学区域での検討事項や課題などがあれば教えてください。

(青木学務課長) この審議会は、通学区域の再編成等について調査・審議していただく審議会となりますが、現在、特別に課題になる審議事項はありません。ただし、大積小学校の統廃合について9月議会で議決されましたが、現在も統廃合について検討が進んでいる件がありますので、今後、年度末に報告させていただく予定です。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

(金澤教育長) 続いて報告事項に移ります。初めに、9月議会における教育委員会関係の質問事項について事務局の説明をお願いします。

(星野子ども未来部長) 令和5年9月議会教育委員会関係質問事項の一般質問について説明します。

まず、笠井則雄議員から、「児童虐待について」、「ヤングケアラー支援について」、「医療的ケア児の支援について」質問がありました。児童虐待については、市の現状と、対応についてお答えしました。関係機関との連携について、要保護児童対策地域協議会と多面的な支援に繋がっていること、また、子ども家庭センターの強化について、令和2年度に「子ども家庭総合支援拠点」を整備した旨を説明しました。令和4年度には専任課長を配置し、正規職員の心理職配置などを進めており、必要な体制強化を図っていくことをお答えしました。続いて、ヤングケアラー支援については、令和3年度に県が行った実態調査の概要について質問がありましたので、その概要についてお答えしました。市の実態把握と対応についての質問には、市の子どもナビゲーターが実施した学校アンケートについて説明し、市が把握したヤングケアラーの実態とその対応策については、当市でヤングケアラーと疑われる児童生徒は30名程度いることを把握していますが、その内7割は福祉等の支援を受けている一方で、残りの支援を受けていない児童生徒については支援の方向性を探ることなどを検討していくと回答しました。最後に、ヤングケアラーの啓発活動につ

いて、当事者や家族は自覚がなく、支援を求めないことが多くあるため、社会全体に向けてのヤングケアラーの認知度向上と相談先の周知等を進めていくと回答しました。次に、医療的ケア児の支援についてですが、長岡市の医療的ケア児の実態について、現状を把握している対象者は約 50 名であると回答しました。また、新潟市の当事者団体が行ったアンケートについての質問があったため、市の見解をお答えしました。その他、県が令和 4 年 4 月に長岡療育園内に設置した「新潟県医療的ケア児支援センター」の概要についても質問がありました。次に、長岡市の支援強化については、長岡市障害児福祉計画に示されている内容について質問があり、市としては関係機関との協議の場と、医療的ケア児等に関するコーディネーターの設置を明記しており、すでに実施しているとお答えしました。

(竹内教育部長) 池田明弘議員からは、「地球沸騰の時代における熱中症対策について」という質問のなかで、今年の夏の学校における熱中症対策の状況について質問がありました。学校における熱中症の発生状況については、今年度 8 月末までに、熱中症の疑いで搬送された事例の件数を報告しました。市の取組状況と熱中症対策にかかる予算の状況についての質問には、熱中症ガイドラインに従い対応している旨を回答しました。例えば、熱中症対策として、経口補水液などの物品等について予算を増やしたのかという質問には、年度当初に配当された予算を活用し、必要に応じて対策を行っているとお答えしました。続いて、特別教室へのエアコン設置状況の質問には、現在のエアコンの設置状況をお答えしました。議員は、体育館へのエアコン設置を強く考えておられ、提案をされましたが、我々としては、理科室や音楽教室などの滞在時間が長い特別教室のエアコン整備を早めに進め、その後、体育館等の設置を検討していきたいと考えています。体育館の風通しの良い大きな窓や鉄格子などは断熱性がない為、工事をするためには非常にコストがかかり、工事期間も半年以上かかることから、検討しながら進めなくてはならないと回答しました。特別教室へのエアコン設置はいつ頃を目途に実施するのかという質問については、令和 9 年度という目標を掲げて進めているとお答えしました。

(竹内教育部長) 桑原望議員からは、長岡市のいじめの対応状況についての質問がありましたので、令和 2 年度から 4 年度までの認知件数と、千人当たりの認知件数について資料記載のとおり回答しました。長岡市の千人当たりの認知件数の少なさ

についての質問は、新潟県のなかで非常に少ないため、見逃しがあるのではないかという認識に基づく質問です。認知件数はばらつきのあるデータのため、県や全国と比較した数値の差を課題としては捉えていないとお答えしました。分析としては、感染症の影響で友人と関わる機会が少なかったことが要因と認識しており、感染症が収束するにつれて増えてきているのではと考えており、いずれにしても件数だけではなく、案件を見逃すことなくしっかりと把握し、対応することが大切である旨を回答しました。続いて、いじめの早期発見について市はどのような対応をしているのかという質問には、「長岡市いじめ防止基本方針」に沿って、教職員には「初期対応フロー」に0段階を示して高い意識を持って対応に当たるようにしているとお答えしました。次に、いじめの組織対応についての質問には、「初期対応フロー」には、教職員の心構えを示し、また、校内いじめ対策組織を設置しそれぞれ組織で対応するよう記載して取り組んでいることや、教育委員会として「いじめ対応力向上研修」を実施し、組織的な対応力の向上を図っていると回答しました。

(星野子ども未来部長) 桑原望議員からは、児童クラブの食事の提供についての質問もありました。初めに、長期休業時の食事提供についての現状や保護者の声についての質問には、現状は家庭から弁当を持参しており、食事の提供は行っていないこと、また、保護者からは数件の問い合わせを受けている旨をお答えしました。食事の提供を実施するための課題については、アレルギーや食中毒など、命に関わるリスク管理について整理する必要があることに加え、注文のとりまとめやキャンセル対応、料金徴収等の負担が大きく、誰がどのように対応するのが課題であると回答しました。解決策における市の考えはどうかという質問については、全国で実施している事例から、課題や方策を探りながら実施に向けて検討していくと回答しました。

(星野子ども未来部長) 笠井綾華議員からは、除雪支援について、妊産婦が除雪を行う際の注意喚起について市の考えについて質問がありました。知り合いの方がアンケート調査をした際に、妊産婦期の除雪が大変だという意見があったということでの質問で、妊産婦の除雪作業は身体への負担が大きく非常に注意喚起が重要であると認識していることをお答えし、市としては、母子健康手帳を交付する際配付している「子育てガイド」を活用して、除雪に限らず妊娠期や産後期は気を付けてい

ただきたいことを説明しているとお答えしました。

(竹内教育部長) 波多恵理議員は、長岡市の文化振興策について、部活動地域移行が将来の長岡市の文化芸術活動に良い影響を与えるという主旨からの質問がありましたので、当市の部活動の地域移行についての検討状況を回答しました。この活動が市全体の文化芸術活動に良い影響を与えると思うが市の考えを伺うということでしたので、地域移行が進むことにより、様々な面で良い影響につながることも期待できるため、相乗効果が生まれるよう努めて行きたいと回答しました。

(竹内教育部長) 中村耕一議員からは、電子図書館の導入について、電子図書館に関する本市の認識と導入に向けた取組についての質問がありました。現時点では、電子図書館についてはメリットとデメリットがあるということを説明した上で、市としては昨年度から新潟県と市町村で協働導入に向けた勉強会を実施し、今年度は長野県に先行事例があり、これを参考に協議会を立ち上げる予定となっています。本市単独よりも県内市町村が協働で導入した方が効果が見込まれることから、引き続き協議に参加し、検討していくとお答えしました。

(金澤教育長) 一般質問での御質疑、御意見などはありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 続きまして、文教福祉委員会の事務局の説明をお願いします。

(星野子ども未来部長) 波多恵理委員からは、不妊・不育治療の助成制度についての質問がありました。県のホームページに掲載のある「独自助成実施市町村一覧表」において、長岡市は助成制度なし、担当課の記載なしと掲載されていることについての質問で、実際に長岡市は、県のホームページに掲載のとおり、不妊・不育治療ともに助成制度がありません。不妊治療は令和3年度まで県の助成があり、令和4年度からは保険適用となったため助成を行っていません。ただし、「助成制度の担当窓口」については、助成以外の一般的な不妊・不育に関する問合せや相談窓口が分からない状況であるため、直ちに改善を県の所管課へ申し入れたいと回答しました。次に、助成実施に向けての検討と、その課題についての質問がありました。課題については、治療されている方の意見や支援ニーズの有無、保険適用後の現在の状況などの実態把握が必要であるが、プライバシーに配慮しながら行う必要があるとお答えしました。今後の市の対応としては、保険適用に伴い、これまでより取り

組みやすい状況が整ったため、治療される方のニーズ把握に努め、助成制度について検討していくとお答えしました。

(竹内教育部長) 高橋美里委員からは、学校現場におけるインクルーシブ教育の方向性について、国連において、インクルーシブ教育の推進と共に、今後、特別支援学校を減らし、普通学級と一緒にしていく動向があることを勉強されたことを受けて、長岡市の状況についての質問があったものです。まず、特別支援学級の設置状況をお答えし、特別支援学級の増減の方向性については、現時点では、特別支援学級を増やしていく、減らしていく等の方向性で就学相談を行っていないため、自立と社会参加の力を伸ばすことができる学びの場が特別支援学級なのか、通常の学級なのかを適切に判断するという目的で就学相談を実施していることを回答しました。続いて、特別支援学級から通常の学級への転籍をした児童生徒の状況についての質問があったため、実態についてお答えし、在籍を変更する際は、必ず保護者及び本人からの申出を受け、丁寧な就学相談を実施して検討しているとお答えしました。最後に、通級教室がもっとたくさんあると良いのではとのことで、現状と今後の方向性について質問がありました。現在は、令和8年までに児童生徒13人に1人の教員を配置する方針が示されましたので、長岡市では現在、13人を超える通級教室があるため、解消に向けて特に利用希望の多い発達障害通級教室の増設に向けて、県との協議を進めていることをお答えしました。最後に、巡回指導の活用の今後の方向性については、巡回指導が多くなれば保護者の負担が少なくなると考えるため、保護者の負担の軽減のために、県と積極的な協議を進め、巡回指導を推進して行きたいと回答しました。

(星野子ども未来部長) 高橋美里委員からは、インクルーシブ保育の現状について、発達特性による待機児童はいるかという質問もありましたので、公立・私立ともに、インクルーシブ保育を実践していること、また、待機児童は出ていないことをお答えしました。人員や設備等が整わず、希望の保育園に入園出来ない可能性はありますが、他の受入が出来る保育園を紹介して入園いただいているため、待機児童は出ていないことをお答えしました。次に、令和4年度に開始した私立園への人件費助成事業の目的は何かという質問については、助成内容を説明し、助成制度を拡充したことによって、令和3年度に21施設だったものが、32施設で対応できるよう

なった状況をお答えしました。

(竹内教育部長) 山田省吾委員からは、順道丸シャフトの保存事業の状況を確認したいという質問がありましたので、まず、シャフトの保存処理に至った経緯について説明しました。続いて、保存処理の方法等の実施状況、今後の活用について、既に、9月から現地で本格的な処理を開始し、費用の一部についてはクラウドファンディングによる寄付を募集する予定であることから、寺泊地域住民をはじめ市民に関心を持ってもらえるよう情報発信をしながら事業を進めていきたいと回答しました。

(竹内教育部長) 桑原望委員からは、一般質問でもありました長岡市のいじめ対応について再度確認の質問がありました。小学校における認知件数が少ない理由をどのように考えているかについては、市内各校では社会通念上のいじめと法律上のいじめとの間で苦慮しながら、いじめとして対応する事案かどうか悩みながら精査して対応していることが、件数の少ない理由としてあることを説明しました。文部科学省の言う「法律上の認知」に対する認識については、文部科学省と認識は同じであり、事態を深刻化させない対応をしっかりとっていくことが重要であることの説明を再度行い、「早期発見」と「適切な初期対応」に努めるよう各校に指導していることをお答えしました。更に、認知件数が少ないことに対する見解については、現場では小さなトラブルも見逃さないよう、日々懸命に対応しているものの、いくら丁寧に対応しても見逃しが100%なくなるとは思っていないため、教育委員会としても「初期対応フロー」を再度提示したり、新たに研修会を開催して全小中学校で共通理解を図り、見逃しが無いよう継続的に働きかけて行くことをお答えしました。

(星野子ども未来部長) 酒井正春委員からは、子育てしやすいまちづくりについて、アオーレ長岡のトイレにおむつ交換台がない所があるとの質問がありました。アオーレ長岡の東棟と西棟のトイレに全ておむつ交換台がついているわけではないことが、誰もが住みやすい、子育てしやすいまちにするために配慮が欠けていると思うということで、担当部局の見解について問われたことから、誰もが子育てしやすいまち、みんなで子育てを助け合えるような意識を醸成できるまちづくりを目指して、施策に取り組んでいるとお答えしました。また、どこに行けばおむつ交換台のあるトイレがあるのか案内板表示が必要だという質問には、既にご指摘があったこ

とを踏まえて配置図を貼付したところであること、おむつ交換台の整備については建物の形状や予算措置といった課題があることから、所管する管財課と連携しながら検討を進めていくことをお答えしました。最後に、さいわいプラザのおむつ交換台の整備状況についても質問があったため、現状についてお答えしました。

(金澤教育長) 文教福祉委員会について、御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和5年度全国学力・学習状況調査結果分析と長岡市教育委員会の取組について の報告です。

(金澤教育長) この内容につきましては、非公開が適当ではないかと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) では非公開にしますので、関係者以外は退席してください。

———会議規則第20条第2項の規定により公表しない———

(金澤教育長) 次に、令和5年度 第1回長岡市図書館協議会報告について 事務局の説明をお願いします。

(梅沢中央図書館長) 第1回長岡市図書館協議会の報告です。7月31日に米百俵プレイス ミライエ長岡で協議会を開催しました。委員長は長岡造形大学の渡邊誠介教授です。10名の委員と竹内教育部長、五十嵐ミライエ長岡担当部長、他事務局職員が出席しました。会議内容は、令和4年度長岡市立図書館の活動評価、令和5年度長岡市立図書館の運営方針(案)、また、米百俵プレイス ミライエ長岡の見学を実施し、「どんな目的で選書をしているか」や、施設の概要について担当から説明がありました。主な意見と質問としては、互尊文庫にはバックヤードがないため、新しい図書を購入し、市民に展示、活用していくと、そのうち図書があふれてしまうという意見がありました。古くなった図書の活用については、出版から年数が過ぎていても活用が見込まれるものは地域図書館で活用することを考えてい

ます。次に、互尊文庫ではテーマごとに図書を置いているが、このままでいくのか、それとも今後配置を変えていくのかという質問については、普遍的なテーマを選ん
でおり、3つのエリアテーマと15のテーマごとに基礎となる図書を置いている旨、
また、現在、ミライエ長岡の基本方針である「人づくりと産業振興」に沿って図書
を並べているが、今後、基本方針が変わることがあれば、時代に合った図書を選定
する可能性もある旨を回答しました。最後に、図書の貸出冊数についての意見につ
いては、コロナ禍では30冊まで増やしたものの、現在は20冊で定着していますが、
基本的には10冊である旨が図書館運営規則で決まっています。当面は20冊の貸出
でいきたいと考えていますが、冊数については今後も検討していく旨を回答しまし
た。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和5年度 第1回長岡市文化財保護審議会報告について
事務局の説明をお願いします。

(小熊教育部副参事) 第1回長岡市文化財保護審議会を、8月24日に教育委員会
会議室で開催し、長岡市文化財保護審議会委員8名の方が出席しました。事務局は
竹内教育部長他、科学博物館の職員が出席しました。会議内容は、主に二つの報告
事項がありました。一つ目は、「城山一本杉」の現状変更についてです。この杉は、
与板城にある大きな杉の木で、樹齢400年、樹高が約20メートルの天然記念物に
指定されている市の文化財です。令和4年12月の大雪の影響を受けて根元の部分
が大きく破損してしまい、倒木の危険が予想されたため、幹の伐採を行いました。
伐採はしましたが、根元から新芽が出ており、指定の経緯が戦国の武将「直江兼続」
ゆかりの由緒ある杉であるということから、指定の解除は行わず継続することを報
告しました。二つ目は、新たに指定された新潟県文化財についてで、「雪の図」は
江戸時代末期に作られた雪中の長岡城下の風俗を描いた巻物2巻です。市の指定文
化財から格上げになり、新潟県文化財として新たに指定されました。また、寺泊地
域にある「五千石遺跡出土品」は、大河津分水路の工事の際に出土した遺跡です。
この出土品のうち、古墳時代前期に関わる土器の他、家人に関わる資料や、玉造の

製品などが出土された 670 点余りを報告しました。最後に、文教福祉委員会でも質問がありました市指定文化財「順道丸シャフト」の状況についてですが、PR を行いながら保存処理を進めていくとお答えしました。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(鷲尾委員) 「城山一本杉」の新芽が出ているから、指定の経緯を踏まえて指定は継続とするということは理解しましたが、個人的な心情では、歴史とは直接的にリンクしないので、指定にこだわることに少し違和感を感じます。

(小熊教育部副参事) 伐採されて根元だけの状態ですが、所有されている神社の氏子の皆さんが管理しています。管理されている方の思いもあり、その新芽を育てて後世に残すことも大切であるということで継続ということになりました。

(金澤教育長) 他に報告事項はありませんか。

(桜井教育総務課長) 教育総務課より、先月の定例会で確認事項となった件など、2 件の案件について報告します。一件目は、「教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書」についてです。先月の定例会にて、報告書の決定について承認いただきましたが、その際ご質問をいただきました事務評価委員からの意見部分について、その意図を事務評価委員長に確認をしましたので報告させていただきます。一点目は、大久保委員からご質問がありました「「保育現場の職員が自信を持って職務に当たれるよう」とあるが、現在、自信を持って当たれない要因があるのか」ということについてです。これについては、先月の定例会にて、現在、自信を持っていないということではなく、要配慮児や保護者対応など困難が増している中で、更に自信を持って仕事に臨めるように研修の充実を図って欲しい主旨だという考えであるということをお答えしました。このことについて事務評価委員長に確認をしたところ、基本的に回答のとおりであり、補足すると、保育をめぐる様々な課題に対応するためには、より良い保育の方法を目指して常に学ぶ必要があると考えているということでした。二点目は、荒木委員からの「「教育機関と研究機関とのより一層の連携強化を望む」という要望の意図は」というご質問がありましたが、これに対し先月の定例会では、附属小・中学校の連携を更に深めて行って欲しいという意見が事務評価委員長からも個別にあったため、そのような意図であると思われる

る、という回答をしました。それについて委員長に確認をしたところ、基本的に回答のとおりであり、補足すると、新しい教員研修制度における附属校・園の研究会や、オンライン研修の積極的な活用など、一例ではありますが、大学・高専・附属校・保育園などとの共同研究や、教育的資産を活用した研修が更に進めば長岡の魅力が一層アップするのではと考えていることからのご意見とのことでした。なお、これらの確認部分については、事務評価委員からの意見の部分になりますので、資料の修正は行いません。

二件目は、長岡市教育委員会表彰の被表彰者についてです。報告は2点あります。一点目は、先月の定例会にて、被表彰者全員について「適」と決定をいただきましたが、その中で、大島小学校後援会会長としての功績で大島小学校から内申がありました田中良明氏について、大島中学校の学校後援会会長も表彰の対象となることから、定例会にて皆様より事務局に一任をいただき、大島中学校からも内申をもらい、大島中学校後援会会長の功績でも表彰させていただくこととなりましたので報告いたします。また、二点目として、同じく先月の定例会にて被表彰者として決定をした方のうち1名から、辞退の申出がありましたので報告します。辞退がありましたのは、学校医としての功績で表彰が決定した佐藤正彰氏です。表彰の決定に伴いご本人へ連絡したところ、辞退の申出とともに辞退届の提出がありましたので、ご本人の意思を尊重し、これを受理しましたので報告します。

(金澤教育長) 他に、報告事項はありますか。

(金澤教育長) これをもちまして、協議報告事項を終了いたします。

(金澤教育長) それでは次に、催し案内をお願いします。

(佐山学校教育課長) 小中天体観察会を、10月5日、6日に教育センターで行います。今年度の最終会になります。望遠鏡操作講習会を行い、興味関心の向上と基礎的な知識・技能の習得を図ります。次に、市民天体観察会を10月24日に教育センターで行います。天体望遠鏡を使い、様々な天体を観察します。天体ドームの大型望遠鏡も開放します。

(梅沢中央図書館長) 中央図書館で映画会を開催します。映画賞を受賞した作品や話題の作品を取り上げて上映します。次に、「読み聞かせボランティア養成講座」

を中村順子さんを講師に迎えて行います。読み聞かせボランティアの方を対象にスキルアップを目指す催しです。次に、歴史文書館での催し案内です。「古文書解説講座」については、歴史文書館の職員などが講師となり、全4回の講座を行います。常設展「長倉村の古文書」は、歴史文書館が所蔵する「古志郡長倉村文書」を紹介するミニ展示です。展示する古文書は、歴史文書館が所在する長倉地区に関する江戸時代の村の暮らしを紹介します。第2回れきぶん講演会では、「「アーカイブ」って何だろう」を演題に、歴史文書館の田中館長を講師に開催します。また、栃尾美術館での催しでは、「写実の軌跡Ⅱ 椿悦至展」を開催します。栃尾出身の洋画家である椿悦至の没後20年を記念し、70余年にわたる画業を振り返ります。最後に、「つきいち☆アート 仮面で変身！」は、ハロウィンに合わせた催しです。

(小熊教育部副参事) 生きものガイド「キノコの中をみてみよう」を9月30日に科学博物館で開催します。定期的に行っている自然の観察の一つです。今回はキノコをテーマに、色々なキノコを実際に割って、中を観察します。次に、秋の企画展「未来につなぐ長岡の史跡」を科学博物館の企画展示室で開催します。郷土の宝として大切に受け継がれている馬高遺跡や八幡林官衛遺跡などを出土品と共に紹介します。また、新たに新潟県の指定となった五千石遺跡の出土品も展示します。

(深澤子ども・子育て課長) 「ながおか・放課後子ども通信6号」を8月末に発行しましたので、御覧ください。

(金澤教育長) 何か御質疑、御意見はありませんか。

(大久保委員) 自転車のヘルメット着用率の調査結果で、新潟県が全国ワーストであるという結果が出ました。先日、自分の学区内で、朝の通学の途中だと思いましたが男子高校生が交通事故で亡くなりました。ヘルメット着用率と重なる部分があるためお聞きしますが、中学校でヘルメット着用率等を指導される機会がありますか。

(玉木学校教育課主幹兼管理指導主事) 通学時に自転車を使用する場合、ヘルメットの着用を指導しています。法律で努力義務とされているので、保護者にも通知しています。強制ではありませんが出来るだけ着用するように周知しています。

(金澤教育長) 自転車通学の生徒たちはヘルメット着用はほぼ全員しています。部活動の遠征や移動の際も着用していますが、帰宅してからのヘルメット着用については保護者の責任となると考えます。小学校での状況はどうですか。

(稲毛学校教育課主幹兼管理指導主事) 小学校のヘルメット着用については、各校で交通安全教室等で指導をしているところです。保護者の意識で大きく変わってくると思いますが、以前よりもヘルメットを着用させる家庭も増えてきていると感じますが、全国に比べてどれくらいかは分かりません。

(金澤教育長) 新潟県全体の問題として、ヘルメット着用について課題となっていると思います。朝日新聞に、県警の記事で関係機関からの働きかけが大事であるという記事も載っていましたので、これから注視していく課題だと思います。

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会します。ありがとうございました。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員